

1,教育理念

世界のグローバル化に伴い、近年国際人口移動は増加し続けています。日本も例外ではなく、2070年代には日本の総人口の1割は外国人となると想定されています。一方で少子化、人口減少等の日本社会が抱える諸課題に対する解答の一つが外国人の受け入れとも言われています。そんな社会の変革期を私たちはどう迎えるべきか。その中で、日本語学校の役割は大きいと思われまます。留学生として迎えた彼らの日本語能力の向上を図るとともに、日本の文化や社会への理解・関心を深め、様々な分野において柔軟に対応できる国際的視野を持った人格を育成し、日本の社会を活性化させ、社会の中で共生を推進する存在となる外国人材の育成を日本語学校は目指すべきと私たちは考えます。

2. 4つの教育目標(教育理念の具体化)

①確実に日本語能力を高める指導

外国人材が日本社会で活躍するためには日本語能力の向上は必須です。授業の効率化、ICT教育の導入、教師力量の向上等の努力だけでなく、学外でも日本語能力を向上させるための環境整備に努めます。

②日本で快適に生活するための指導

日本人との円滑なコミュニケーション、日本社会への適応のためにも日本や日本人が大切にしてきた知見、知恵を留学生に伝えることを重視します。それを土台に留学生が自ら考え、行動することで、さらに自らを成長させる。そんな主体的に学ぶ人格の育成に努めます。

③日本や日本の文化に興味を持つ指導

日本の文化は、そこに精神性が伴うことで発展してきました。多くの外国の方がそこに興味を抱いています。「之を知る者は、好むものに如かず」の諺があるように、一つのものに興味を持つことが言語能力、コミュニケーション能力を開花させる礎となります。日本の様々な文化に触れあうことで日本文化の理解につながります。

④卒業後に希望する進路に進める指導

留学生は日本語学校在学中に学んだことを土台にし、次のステージに進みます。進学先でさらに能力を高め、社会で活躍できる専門的の能力を習得することとなります。「進学情報」、「社会の動向」、「留学生の意思」この3者を総合的に考慮して学生とともに進路を考えます。

2023年4月1日

中部ランゲージアカデミー 渡邊 学